

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 2号機シュラウドの目視点検終了について

平成 15 年 2 月 13 日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 2号機(沸騰水型, 定格出力 110万キロワット)は、9月 20日からの点検停止中のところ、シュラウドの各溶接線について水中カメラ<sup>\*1</sup>を用いた目視点検を実施しており、2月 12日に目視点検が終了しましたのでお知らせいたします。

目視点検により、下部リング溶接線(H 6 a)外側近傍のほぼ全周にわたる断続的なひび、シュラウドヘッドボルトブラケット<sup>\*2</sup>溶接線近傍に 1箇所ひび、及び中間部胴縦溶接線(V 1 6)外側近傍に 1箇所ひびを確認しました。

(12月 5日, 12月 26日お知らせ済み)

その後の目視点検の結果、シュラウドサポートリングの内側にほぼ全周にわたる断続的なひびが存在することを確認しました。

ひびが確認された各部位について、ひびの深さを超音波探傷検査により測定した結果、最大深さは、シュラウドヘッドボルトブラケット溶接線近傍で約 18mm、H 6 a外側近傍で約 16mm、V 1 6外側近傍で約 20mmであることを確認しました。

引き続きシュラウドサポートリングの超音波探傷検査を実施しております。

以上

\* 1 : 点検に使用している水中カメラは、10~30cm離れた距離から直径 1/1000インチ(25.4/1000mm)のワイヤが識別できる程度の精度を持つものです。

\* 2 : シュラウドヘッドボルトをさし込んで、シュラウドヘッドを固定するための 2本のつめ状の金具である。